

(一般屋内用)

誘導灯用信号装置 誘導音+点滅用 (25回路)

品番 FF90028K

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

定格性能

電源電圧	AC100V	
定格周波数	50/60Hz	
【点滅】信号回路/定格容量	DC24V	合計2A 1回線当たり0.4A
【誘導音】信号回路/定格容量	DC24V	
型式認定番号	S12A-22	
停電補償機能	ニッケル水素蓄電池搭載 停電後20分間 (点滅・誘導音信号回路のみ)	
適合誘導灯	<ul style="list-style-type: none"> ・点滅形誘導灯 ・誘導音付点滅形誘導灯 ・点滅装置 ・誘導音付点滅装置 	

基本動作

信号装置 誘導灯	火災信号なし		火災信号を受けたとき	
	通電時	停電時	非常放送なし	非常放送による 停止信号受信時
誘導音動作を制御する	停止 (停電補償機能)		動作	停止
点滅動作を制御する	消灯 (停電補償機能)		点滅のまま	

工事店様へ【施工説明】

1. 安全・施工に関するご注意	_____	P. 2
2. 信号装置の組合せ適合機器	_____	P. 3
3. 各部のなまえと取付方法	_____	P. 4
4. システム構成	_____	P. 6

お客様へ【取扱説明】

5. 安全に関するご注意	_____	P. 8
6. 操作パネルのなまえと機能説明	_____	P. 8
7. 使用上のご注意	_____	P. 10
8. 保証について	_____	P. 10
9. お手入れ・部品交換	_____	P. 10
10. 故障かな?と思ったときは	_____	P. 11
11. 保守・点検の要領	_____	P. 12
12. 器具定格・基本内部回路図	_____	P. 12

1. 安全・施工に関するご注意

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

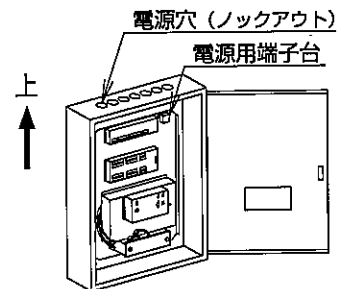
施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

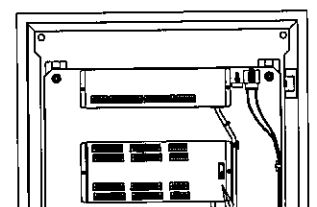
⚠ 警告

- 施工は、施工説明にしたがい確実に行う。
施工に不備があると非常時に動作しないほか、火災・感電の原因となります。
- 信号装置を改造しない。落下・火災・感電の原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数で使用する。
指定外の電源電圧・周波数で使用すると、火災・感電の原因となります。
- 蓄電池を短絡・分解しない。破裂・やけど・火災・感電の原因となります。
- 信号装置を使用する場合は、必ず事前に所轄消防署の承認を得る。
- 壁面取付専用ですので、天井取付はしない。
落下・火災の原因となります。
電源穴（ロックアウト）、電源用端子台が上になる方向にお取付ください。



⚠ 注意

- 信号線接続時は必ず電源を切り、蓄電池コネクタを外してください。
信号線を短絡させた場合、指示部（右図）のヒューズが溶断し、誘導灯が一斉鳴動します。
原因を確認後、指定ヒューズと交換してください。
（交換用ヒューズを1個、本書に付属しています。）
定格が同じでも他のものを使用すると内部の基板が故障する原因となります。
- 直射日光の当たる場所、湿気が多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、風の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。
落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃で使用してください。
指定外の周囲温度で使用すると、蓄電池劣化や動作不良・火災及び非常時に動作しない原因となります。
- 据付作業は必ず二人以上で作業してください。
器具落下の原因となります。



交換用ヒューズ
品番
FKF90028017

2. 信号装置の組合せ適合機器

●この誘導灯用信号装置は、下表の機器と組合せて使用ください。

自動火災報知設備・非常放送設備

自動火災報知設備	<p>・自動火災報知設備と必ず連動させて使用ください。 自動火災報知設備は無電圧移報端子（a接点）が付いているものを使用ください。 ※無電圧移報端子（a接点）がない場合は、移報装置が必要です。</p>	（例：弊社 検定品） 受信機P型1級
非常放送設備	※非常放送設備と連動して誘導音を停止させる場合は、誘導音停止用端子（非常放送時ONとなる無電圧a接点）が内蔵されているものをご使用ください。	

適合誘導灯

使用目的	点滅形誘導灯を設置される場合	誘導音付点滅形誘導灯を設置される場合
適合誘導灯	点滅形誘導灯 <電池内蔵型> (信号回路 DC24V)	誘導音付点滅形誘導灯 <電池内蔵型> (信号回路 DC24V)

●この信号装置1台で制御できる誘導灯の最大可能取付台数は、次のとおりです。

誘導音・点滅制御	信号装置の容量	1回線当りの最大取付台数 (FA20330K、FA20336Kの場合)	全回線の合計最大取付台数 (FA20330K、FA20336Kの場合)
点滅信号出力	DC24V 合計2A 1回線あたり0.4A	60台（※1）	330台（※2）
誘導音信号出力		25台（※1）	125台（※2）

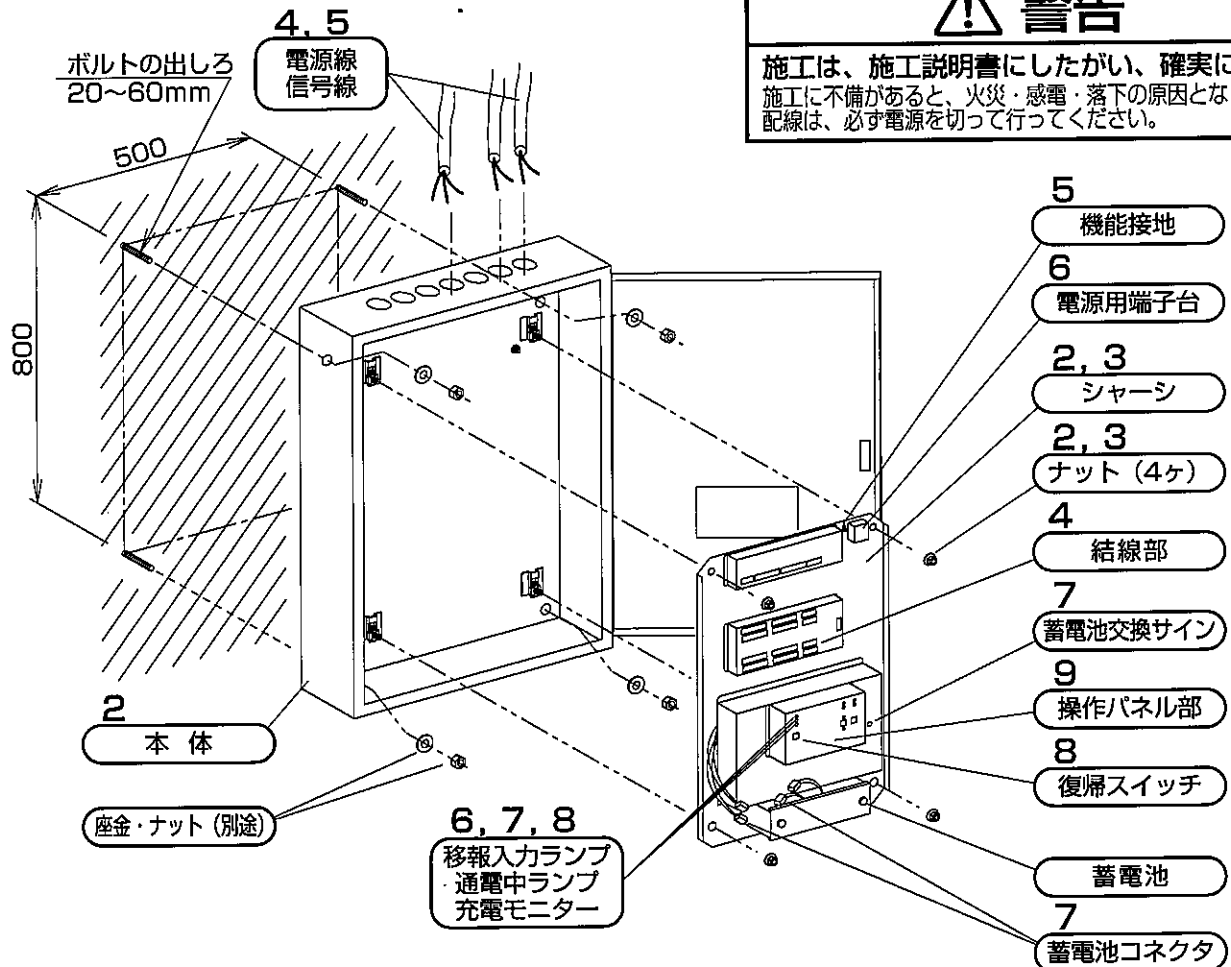
注) 上記使用可能台数は一例ですので、必ず使用する誘導灯の入力電流値で算出してください。

計算方法

- ※1. 1回線当りの最大取付台数 — 信号電流の合計が0.4A（400mA）まで
- 点滅制御 : 点滅形誘導灯の信号電流=6mA（FA20330Kの場合）
 $400\text{mA} / 6\text{mA} \approx 60$ 台まで
- 誘導音制御 : 誘導音付点滅形誘導灯の信号電流=16mA（FA20336Kの場合）
 $400\text{mA} / 16\text{mA} \approx 25$ 台まで
- ※2. 全回線の合計最大取付台数 — 信号電流の合計が2A（2000mA）まで
- 点滅制御 : 点滅形誘導灯の信号電流=6mA（FA20330Kの場合）
 $2000\text{mA} / 6\text{mA} \approx 330$ 台まで
- 誘導音制御 : 誘導音付点滅形誘導灯の信号電流=16mA（FA20336Kの場合）
 $2000\text{mA} / 16\text{mA} \approx 125$ 台まで

増改築により接続台数を増やす場合また、リニューアルする場合は、合計信号入力電流が定格容量を越えないことを再確認してください。

3. 各部のなまえと取付方法



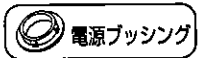
警告

施工は、施工説明書にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。
配線は、必ず電源を切って行ってください。

1. 取付前の確認

- 器具質量(約33kg)に十分耐える様、ボルト取付部の強度を確保する。ボルトはW3/8またはM10を使用する。不備があると器具落下の原因となります。

2. 本体の取付

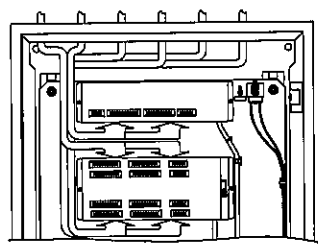
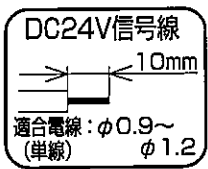
- ナット(4ヶ所)を外し、シャーシを本体から取り外す。
- 使用する電源穴(ロックアウト)を抜く。
- 付属の電源プッシングを使用する電源穴に取り付ける。

- 本体を取付ボルトに確実に取り付ける。(推奨トルク値 1.5N・m) 不備があると器具落下の原因となります。

3. シャーシの取付

- シャーシをナットで確実に取り付ける。(4ヶ所)
- 事前に電源線、信号線を引き込んでいる場合は、電線を挟み込まないように、十分にご注意ください。不備があると感電の原因となります。
- シャーシの電源用端子台が上側になるように取り付けてください。不備があると落下・火災の原因となります。

4. 信号線の接続

- 信号線を電源穴から引き込む。
- 4. システム構成**(6~7ページ)を参照し接続を行なう。
- 信号出力の最大許容電流は合計2.0Aです。1回線あたりは0.4Aとしてください。
- 詳細は**2. 信号装置の組合せ適合機器**(3ページ)をご覧ください。
- 信号装置の信号用端子台の配列については、“**結線部のなまえと機能説明**”(5ページ)をご参照ください。
- 接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、火災の原因となります。
- 結線完了後、電線が本体と扉の間で挟み込まないように、電線の処理をお願いします。不備があると感電の原因となります。



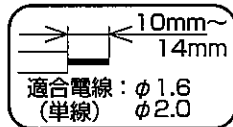
5. アース線の接続

- アース線を電源穴から引き込み、機能接地端子に接続する。不備があると雑音(ノイズ)により他機器に影響を与える場合があります。

3. 各部のなまえと取付方法 (つづき)

6. 電源線の接続

- ・電源線を電源穴から引き込み、電源用端子台に確実に差し込む。端子台容量は20Aです。接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、火災の原因となります。



9. 復帰スイッチを押す

- ・移報入力ランプ (赤) が点滅から消灯に変化します。

7. 電源 (AC100V) の投入

- ・通電中ランプ (赤) が点灯します。

10. 動作確認

- ・ **6. 操作パネルのなまえと機能説明** (8~9ページ) を参考に動作確認を行なう。

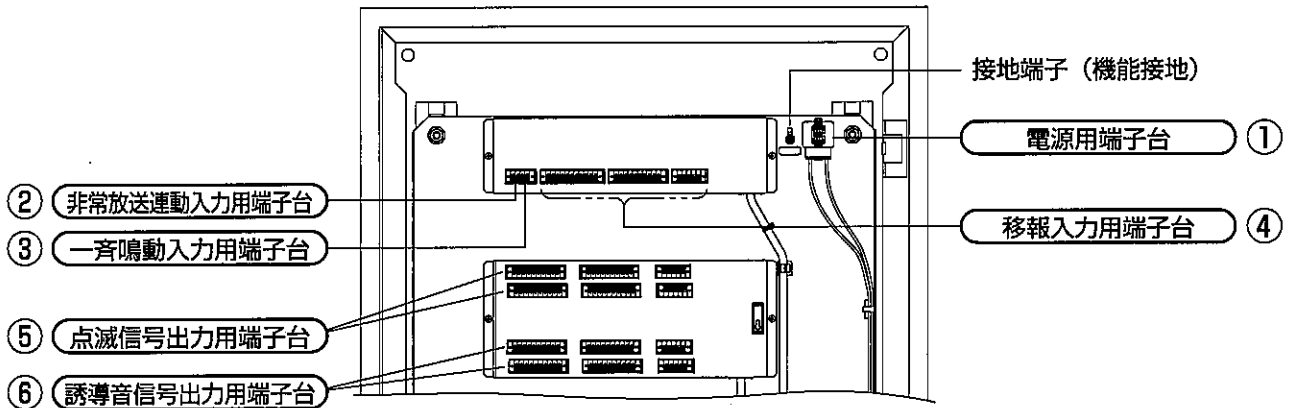
正常に動作しない場合は、**10. 故障かな?と思ったときは** (11ページ) の項を参照してください。

8. 蓄電池コネクタの接続

- ・常用電源通電後、蓄電池コネクタを接続する。
- ・方向を合わせ確実に奥まで差し込む。
- ・充電モニター、蓄電池交換サインが点灯します。

11. 本体の扉を閉じる

結線部のなまえと機能説明



No.	端子台名称	機能
①	電源用端子台	誘導灯信号装置の電源線を接続。 入力電圧：AC100V 定格容量：20A 配線の種類：一般屋内用配線
②	非常放送連動入力用端子台	非常放送が行なわれた時に非常放送設備に連動し、誘導音を停止させる場合に、自動火災報知設備からの誘導音停止信号線を接続。 電圧：DC24V 短絡電流：10mA 配線の種類：一般屋内用配線
③	一斉鳴動入力用端子台	一斉に鳴動、点滅させる場合に自動火災報知設備からの一斉鳴動移報信号を接続。 電圧：DC24V 短絡電流：10mA 配線の種類：耐熱C種配線 (※1)
④	移報入力用端子台 (A0、A1~A25)	自動火災報知設備からの移報用信号線を接続。 電圧：DC24V 短絡電流：10mA 配線の種類：耐熱C種配線 (※1)
⑤	点滅信号出力用端子台 (L1~L25)	点滅形誘導灯または、点滅装置を使用する場合の信号出力線を接続。 出力電圧：DC24V 定格容量：誘導音信号と合わせて2A 配線の種類：一般屋内用配線
⑥	誘導音信号出力用端子台 (S1~S25)	誘導音付点滅形誘導灯または、誘導音付点滅装置を使用する場合の信号出力線を接続。 出力電圧：DC24V 定格容量：点滅信号と合わせて2A 配線の種類：一般屋内用配線

⑤、⑥の各信号出力は1回線あたり0.4Aまでとしてください。

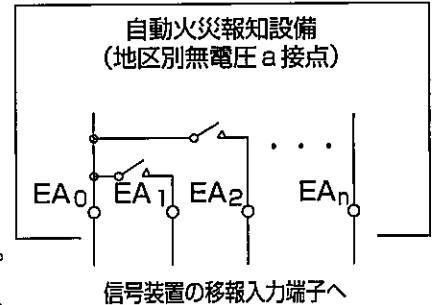
(※1) 自動火災報知設備と同一の部屋に信号装置が設けられる場合は一般屋内用配線でも可。

4. システム構成

- この信号装置は、自動火災報知設備（自火報）からの火災信号と連動して、地区別に誘導音付誘導灯（誘導音付点滅形誘導灯、誘導音付点滅装置）、点滅形誘導灯（DC24V仕様）、点滅装置（DC24V仕様）の誘導音や点滅の動作をさせる信号を送ります。

（ご注意）

自火報の地区別無電圧 a 接点（常時OFF）を信号装置の移報入力端子台に接続してください。
自火報に誘導音付誘導灯用として地区別無電圧 a 接点が内蔵されていることを必ず事前にご確認ください。



- この信号装置には、自火報の地区別移報信号に応じて必要な階の誘導音・点滅信号を出力するためのマトリックスを内蔵しています。

信号装置動作表

出力信号 移報入力信号	地下階 (A1端子)	1階 (A2端子)	2階 (A3端子)	n階 (A ⁿ⁺¹ 端子)	23階 (A24端子)	24階 (A25端子)
地下階 (S ₁ , L ₁ 端子)	○	○	—	—	—	—
1階 (S ₂ , L ₂ 端子)	○	○	—	—	—	—
2階 (S ₃ , L ₃ 端子)	—	○	○	—	—	—
3階 (S ₄ , L ₄ 端子)	—	—	○	—	—	—
n階 (S _{n+1} , L _{n+1} 端子)	—	—	—	○	—	—
n+1階 (S _{n+2} , L _{n+2} 端子)	—	—	—	○	—	—
23階 (S ₂₄ , L ₂₄ 端子)	—	—	—	—	○	—
24階 (S ₂₅ , L ₂₅ 端子)	—	—	—	—	○	○

（ご注意）

自火報の地区別無電圧 a 接点は、地下階（一斉動作）の火報信号をEA1端子、1階の火報信号をEA2端子、2階の火報信号をEA3端子、n階の火報信号をEAⁿ⁺¹端子とし、この信号装置の移報入力端子（A1～An端子）に接続することで上表のような動作を行なうことができます。これ以外の動作をさせる場合には、商品に加工が必要ですので別途ご相談ください。

- 自火報からの一斉鳴動信号により区分鳴動から一斉鳴動へ移行し、全館の誘導灯を鳴動、点滅させることができます。
- 点検時など必要な場合は点検スイッチにより手で一斉に各誘導灯の誘導音や点滅の動作をさせる信号を送ることができます。
- この信号装置は、非常放送が入った場合、非常放送設備の接点信号を受ることにより誘導音付誘導灯の誘導音を一斉に停止（誘導音付点滅形誘導灯では点滅動作は継続します）させることができます。

（ご注意）

非常放送時誘導音を停止させる場合は、必ず非常放送設備に誘導音停止用端子（非常放送時ONとなる無電圧接点）が内蔵されていることをご確認ください。

- 信号装置の電源が停電した場合も内蔵のニッケル水素蓄電池により20分間前記の機能補償を行っています。
- 自火報と同室に設置してください。別室に設置される場合、自火報との接続は耐火配線もしくは耐熱配線としてください。
- 誘導音・点滅信号回路の電圧はDC24Vです。
- 避難経路が煙により汚染されたことを検知し、誘導音及び点滅動作を停止するための煙感知器は、誘導音付誘導灯の端子へ直接接続してください。なお、煙感知器は必ず蓄積型とし当社下記品番のものをご使用ください。

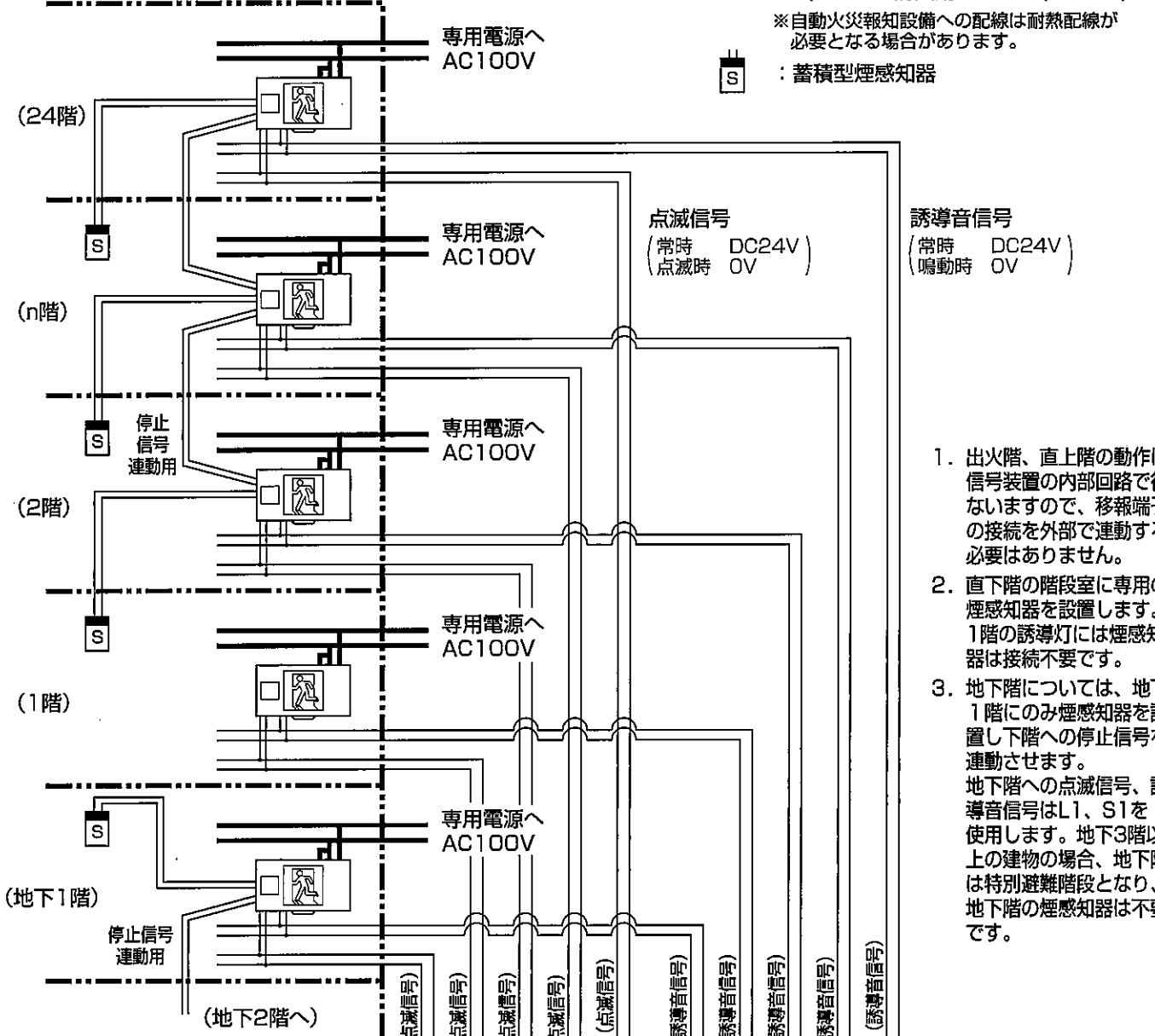
感知器ヘッド：BV454728, BV455728

感知器ベース：BVK4010, BVK4017

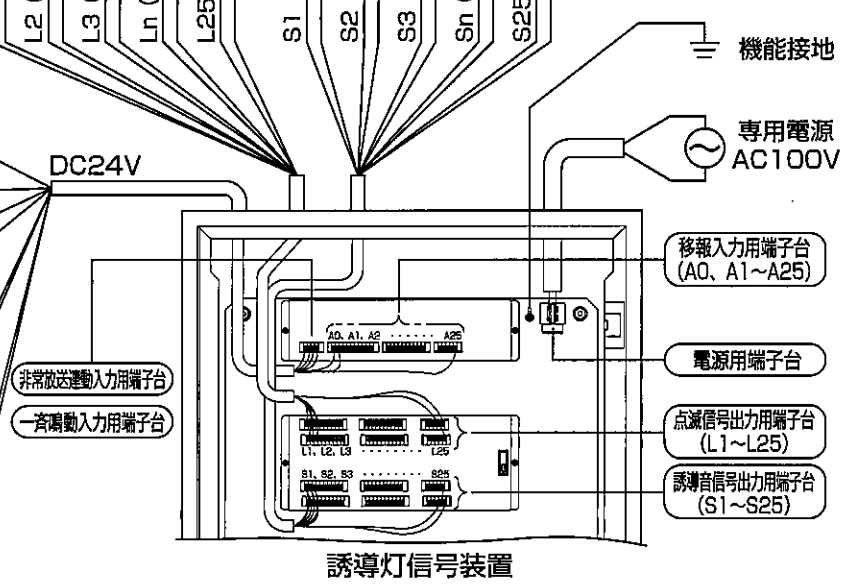
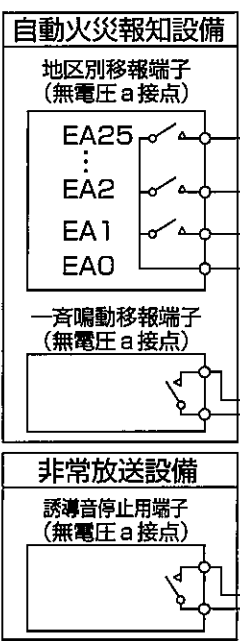
- システム構成については、あらかじめ所轄の消防署とご相談ください。

4. システム構成 (つづき)

- (太線) : 一般屋内用配線 AC100V (VVFφ1.6またはφ2.0)
- (細線) : 一般屋内用配線 DC24V (CPEV、防災用ケーブルφ0.9~φ1.2)
- ※自動火災報知設備への配線は耐熱配線が必要となる場合があります。
- : 蓄積型煙感知器



1. 出火階、直上階の動作は信号装置の内部回路で行ないますので、移報端子の接続を外部で連動する必要はありません。
2. 直下階の階段室に専用の煙感知器を設置します。1階の誘導灯には煙感知器は接続不要です。
3. 地下階については、地下1階にのみ煙感知器を設置し下階への停止信号を連動させます。地下階への点滅信号、誘導音信号はL1、S1を使用します。地下3階以上の建物の場合、地下階は特別避難階段となり、地下階の煙感知器は不要です。



5. 安全に関するご注意

取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 器具を改造しない。感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

⚠ 注意

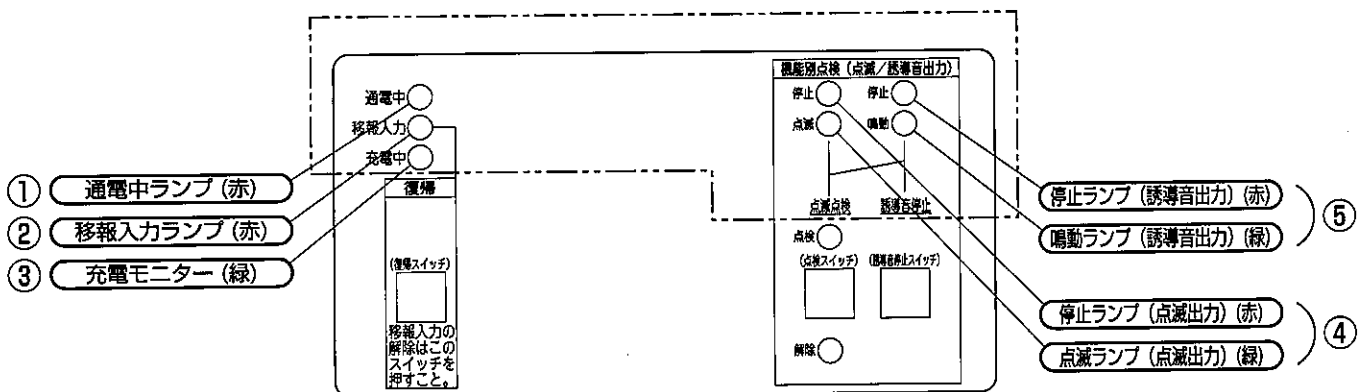
- アルカリ系洗剤は使用しないでください。強度低下による破損の原因となります。
- この商品のメンテナンスは工事店等の専門家におまかせください。内部結線には、手をふれないでください。
- 蓄電池を加熱したり、火や水の中へ入れたりしないでください。破裂する危険があります。
- 蓄電池は絶対に分解しないでください。やけど・感電の原因となります。電池内の液は、皮膚や衣類をいためます。
- 蓄電池のショートは絶対にさけてください。火災・破裂・感電・やけどの原因となります。
- 信号装置には、寿命があります（※1）法令に基づいて定期的に点検を実施してください。点検せずに長時間使い続けるとまれに火災にいたる場合があります。

※1 信号装置は、使用条件、使用環境で異なりますが、8～10年が取り替え時期の目安です。但し、蓄電池は、4～6年です。

6. 操作パネルのなまえと機能説明

●入出力信号表示ランプ

電源通電状態、移報信号入力状態、蓄電池の充電状態、各誘導灯の動作状態（信号出力状態）を表示するランプです。



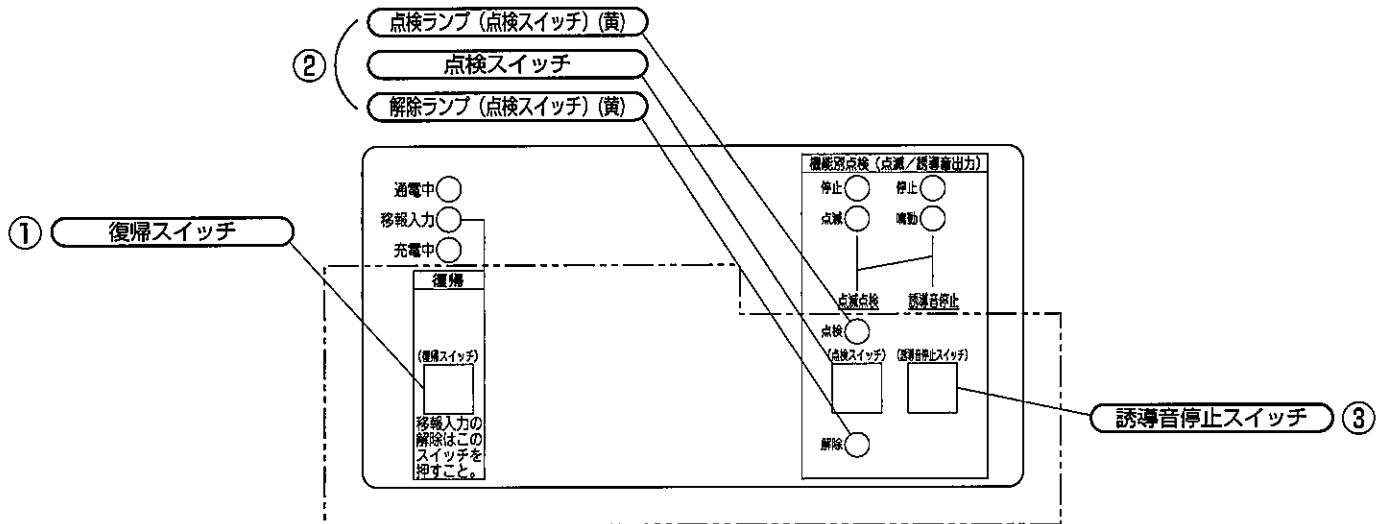
No.	表示ランプ名称	表示ランプ点灯時の状態
①	通電中ランプ	信号装置に電源（AC100V）が通電されている状態を表します。 通電時：点灯
②	移報入力ランプ	自動火災報知設備からの移報信号の入力状態を表します。 点灯：移報入力状態 点滅：移報解除状態で信号装置が未復帰状態、電源投入時 消灯：通常時
③	充電モニター	信号装置に内蔵の蓄電池の充電状態を表します。 点灯：充電中 消灯：非充電状態（電池異常または停電時）
④	停止ランプ（点滅出力）	点滅形誘導灯または点滅装置、誘導音付点滅形誘導灯の点滅が停止しています。
	点滅ランプ（点滅出力）	点滅形誘導灯または点滅装置、誘導音付点滅形誘導灯が点滅しています。
⑤	停止ランプ（誘導音出力）	誘導音付点滅形誘導灯の誘導音が停止しています。
	鳴動ランプ（誘導音出力）	誘導音付点滅形誘導灯の誘導音が鳴動しています。

6. 操作パネルのなまえと機能説明 (つづき)

●操作スイッチと動作状態表示ランプ

各操作スイッチと、そのスイッチの動作状態を表示するランプです。

※復帰スイッチと、誘導音停止スイッチ以外の各操作スイッチは、1秒以上の長押しが必要です。(誤操作防止機能)
詳細は下表をご参照ください。



No.	スイッチと表示ランプ名称	スイッチの機能と表示ランプ点灯時の状態
①	復帰スイッチ	通常状態に復帰させます。(電源投入時および復旧時に操作します。) 移報入力ランプが点滅している場合に押してください。
②	点検スイッチ	点滅形誘導灯または点滅装置、誘導音付点滅形誘導灯の点滅および誘導音鳴動の切替点検を行なう場合に操作します。(1秒以上長押し)
	点検ランプ (点検スイッチ) 解除ランプ (点検スイッチ)	点検スイッチ操作により、信号装置は点滅および誘導音の動作モードとなっています。 点検スイッチ操作により、信号装置は点滅および誘導音の動作停止モードとなっています。
③	誘導音停止スイッチ	誘導音付点滅形誘導灯の誘導音鳴動を停止させる場合に操作します。スイッチを押している間だけのみ、誘導音鳴動が停止します。一括スイッチによる一括点検中および、点検スイッチによる点検中にのみ操作可能です。

※点滅・誘導音鳴動の切替点検(点検スイッチ操作)には、それぞれに自動復帰機能が付いております。

点滅形誘導灯および点滅装置、誘導音付点滅形誘導灯に内蔵している蓄電池の未充電防止の為、万一、スイッチを戻し忘れた場合には、点検モードに移行してから約90分後に自動的に通常状態に戻ります。

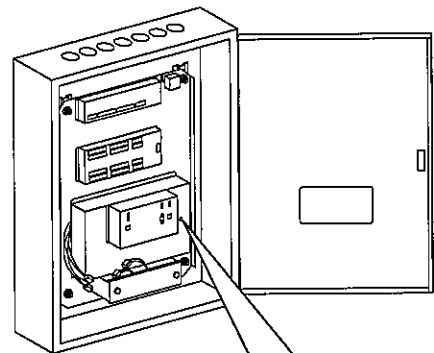
7. 使用上のご注意

- ・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は信号装置から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- ・同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
- ・蓄電池は、24時間以上充電後、停電補償の動作を確認してください。
- ・電源を通电せずに、蓄電池を接続したまま放置しないでください。蓄電池の劣化や短寿命の原因となります。
- ・蓄電池交換サイン付き信号装置です。内蔵する蓄電池の通电時間をタイマーでカウントし、交換時期の目安（約40,000時間）を緑色点滅でお知らせします。

（注1）交換時期のお知らせは、目安です。

蓄電池交換サインが点滅しなくても24時間以上充電し、20分以上停電補償を行なわない場合は蓄電池を交換してください。

（注2）蓄電池を交換し接続が完了すると点灯（通常）モードに戻ります。



蓄電池交換サイン

点灯：通常（充電中）
（通电時間4万時間未満）

点滅：電池交換時期
（通电時間4万時間以上）

消灯：異常
（電池異常またはコネクタ未接続）

8. 保障について

- ・保証について・・・この商品の保証期間は1年間です。蓄電池等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- ・保証書について・・・保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。

9. お手入れ・部品交換

- ・器具の清掃について・・・汚れを落とす場合は、石けん水をひたしたやわらかい布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。器具に直接水をかけないでください。
- ・部品交換について・・・本体表示にしたがって、下記の指定された部品を使用してください。

交換部品	品名	品番	備考
	蓄電池	FK783×2 (24V 2000mAh)	—
	ヒューズ	FKF90028017	1ヶは付属 (本紙貼付)

- ・蓄電池交換方法・・・下図を参照のうえ確実にこなしてください。

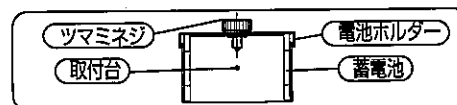
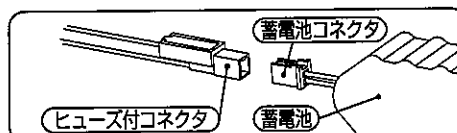
1 扉を開ける。

2 蓄電池を交換する。

- ・蓄電池コネクタを抜く。
- ・ツマミネジと電池ホルダーをはずし、蓄電池を交換する。

3 蓄電池を取付ける。

- ・はずした手順と逆の手順で確実に取付ける。
- ・電池ホルダー、取付台でリード線を傷付けないこと。感電・火災の原因となります。
- ・蓄電池コネクタを確実に差し込む。



10. 故障かな?と思ったときは

・表に従ってお調べいただき、なお異常がある場合は、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。

現 象	考えられる原因	処 置
1. 全く動かない 表示ランプが1個も点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ・電源AC100Vが投入されていない。 ・電源にAC200Vが印加されている。 	配線をチェック後、電源 (AC100V) を投入する。 すぐに電源を切り、工事店に相談し、修理を行なう。
2. 点検スイッチを操作しても 切替わらない	<ul style="list-style-type: none"> ・スイッチ操作が不十分。 	スイッチを1秒以上長押しする。
3. 点滅動作が止まらない (点滅形誘導灯、点滅装置) 誘導音鳴動が止まらない (誘導音付点滅形誘導灯) (誘導音付点滅装置)	<ul style="list-style-type: none"> ・「復帰スイッチ」の押し忘れ。 (移報入力ランプが点滅している) ・自動火災報知設備から、火災信号が出ている。 (移報入力ランプが点灯している) ・点検スイッチ操作により点滅・鳴動している。 (点検ランプ (点検スイッチ) が点灯している) ・出力端子部ヒューズホルダが浮いている。 ・出力信号端子部のヒューズ切れ。 (出力信号線が短絡している) ・誘導灯の故障・不具合。 ・信号出力線が断線している。 	「復帰スイッチ」を押す。(移報入力ランプは消灯) ※施工後、停電後、自動火災報知設備の復旧後は 「復帰スイッチ」を押してください。 自動火災報知設備を復旧後、「復帰スイッチ」を押す。 (移報入力ランプは消灯) 点検スイッチを押し、停止させる。 (解除ランプ (点検スイッチ) が点灯) ヒューズホルダを点検し、確実に取付ける。 出力端子台のヒューズの溶断有無を確認する。 ヒューズが切れてる場合、配線 (出力信号線) をチェック後、 ヒューズを交換する。(1ヶ付属 本紙表紙に貼付) 交換用ヒューズ 品番: FKF90028017 誘導灯を確認する。 誘導灯へつながる配線をチェックする。
4. 点滅動作をしない 誘導音鳴動をしない	<ul style="list-style-type: none"> ・誘導灯に内蔵のキセノン・音声用蓄電池の充電不足。 24時間以内に停電または、点検スイッチ操作を行なった。 ・誘導灯の故障・不具合。 	24時間以上充電する。 誘導灯を確認する。
5. 非常放送連動しない	<ul style="list-style-type: none"> ・信号線 (誘導音停止信号) が断線している。 	非常放送設備～自動火災報知設備～信号装置への配線を チェックする。
6. 一斉鳴動に切り替わらない	<ul style="list-style-type: none"> ・信号線 (一斉鳴動信号) が断線している。 	自動火災報知設備～信号装置への配線をチェックする。
7. 充電モニターが消灯している 蓄電池交換サインが消灯している	<ul style="list-style-type: none"> ・蓄電池コネクタが接続されていない。 ・信号装置に内蔵の蓄電池の寿命。 ・蓄電池コネクタのヒューズ切れ。 	蓄電池コネクタを接続する。 蓄電池を交換する。 蓄電池コネクタのヒューズの溶断有無を確認する。 ヒューズが切れてる場合、配線 (出力信号線) をチェック後、 ヒューズを交換する。 併せて、出力信号端子部のヒューズ切れもチェックしてください。 交換用ヒューズ 品番: FKF90028017

11. 保守・点検の要領

◆定期点検

3ヶ月に1回は、破損・変形などの外観の点検をお薦めします。6ヶ月に1回は、必ず下記の動作点検を行なってください。
 (点検については、誘導灯は消防法令、非常用照明器具は建築基準法令に定められていますので必ず実施ください。)

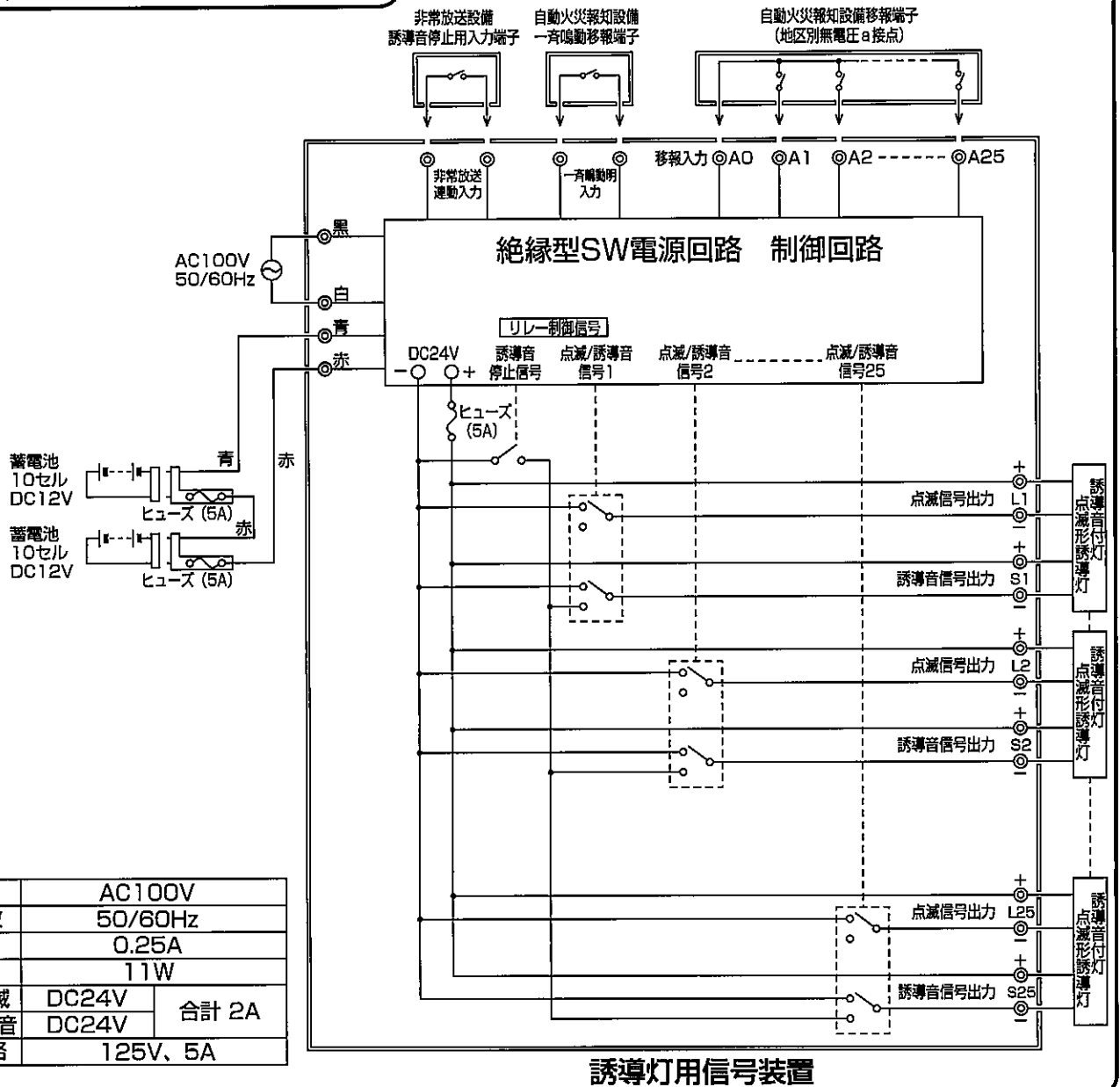
1. 移報入力による動作確認・・・自動火災報知設備からの移報入力により、誘導灯が一斉に点滅・鳴動できるかどうか確認してください。
2. 点検スイッチによる動作確認・・・点検スイッチにより誘導灯の点滅動作及び誘導音鳴動が一斉に動作できるかどうか確認してください。
3. 誘導音停止スイッチによる・・・誘導音停止スイッチにより誘導音鳴動が一斉に停止するかどうか確認してください。
動作確認
4. 内蔵蓄電池による停電補償・・・信号装置への電源の遮断により20分以上、誘導灯が点滅/誘導音鳴動しないことを確認してください。
機能確認

◆設置年月日 年 月 日 ◆取付場所

◆器具No.

点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者
	外観	機能			外観	機能			外観	機能	

12. 器具定格・基本内部回路図



器具定格

電源電圧	AC100V	
定格周波数	50/60Hz	
入力電流	0.25A	
入力電力	11W	
信号回路	点滅 DC24V	合計 2A
定格容量	誘導音 DC24V	
ヒューズ定格	125V, 5A	

誘導灯用信号装置



Ni-MH

この器具には、ニッケル水素電池を使用しております。ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ニッケル水素電池の交換、およびご使用済製品の廃棄に際してはニッケル水素電池を取り出し、リサイクルにご協力ください。